

ゆとりと教養を備えた今だからこそ、大学院で学び修士、博士号に挑む。全国のキャンパスで若い学友と肩を並べて、大学院で専門分野の研究に打ち込む熟年が増えている。少子高齢化時代に生き残りをかける大学側も受験や学費の優遇制度を実施し、意欲の高いシニアの受け入れに力を入れている。

さいたま市の埼玉大学。四月から同大学院の経済科学研究科博士前期課程(修士課程)で週四日学ぶ滝沢道夫さん(56)は「大学院で学ぶのがこれほど刺激的で楽しいとは」と話している。

金沢大学を卒業後、大手商社で主にプラント事業部門を担当した。シンガポールやタイ、香港などアジアを中心に海外に雄飛する商社マン生活に終止符を打ったのが約三年前のこと。「会社の寿命は三十年といわれるが、ビジネスマン生活も三十年を一つの区切りに」との思いからだった。

その後、英国系のコンサルティング会社関係の仕事をしてきたが、自らが手がけてきた仕事を学問的に体系化したいとの思いが募った。昨年、自宅に近い埼玉大で社会人院生に門戸を開いていることを知り受験、合格した。企業の顧問などをしながらも現在の生活は、大学院での勉学、研究が中心。研究テーマは今も熱い思いを抱くシンガポールの代表的企業の研究だ。

「学生時代は、アルバイトやスポーツに夢中でほとんど勉強しなかった。それだけに、今は学ぶことが楽しくて、かつこの分まで学ぼうと一生懸命です」という。大学院で学んだ後は、その成果を生かして教える側に回ることを夢見る。

文部科学省の学校基本調査(二〇〇六年度)によると、全国の大学院の社会人入学者は修士課程が八千百

六十一人(全体の二〇・五%)、十年間で約二・二倍、博士課程が五千二百五十七

修士・博士号 熟年から挑戦

豊富な人生経験、大学院で結実



高橋・山形大教授と論文作成について話し合う佐藤さん(山形大東京サテライト)

人(同三〇・七%、同約三・三倍)と増えている。大学が夜間大学院や昼夜開講制大学院、東京や大阪などでのサテライト教室開設などもあり、博士課程を中心に伸びが目立つ。

創業者も「1年生」

玩具メーカー、タカラ(現タカラトミー)の創業者で、リカちゃんやチャロQなど多くの長寿玩具の生みの親である佐藤安太さん(83)も大学院博士課程の1年生だ。

「経営者としての様々な経験などを客観的に整理し、一つの学問体系にまとめ上げられないか」。こうした思いから、今春、母校山形大学の大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻課程に入学した。

山形大の東京サテライト(東京・港)を拠点に、同大ものづくり技術経営学専攻長の高橋幸司教授から指導を受けながら、「玩具産

大学院の主なシニア選考・優遇制度

東京経済大学大学院	経済学・経営学・コミュニケーション学・現代法学の4研究科の修士課程でシニア枠を設定
作新学院大学大学院	入学時55歳以上の人は学費を割引
埼玉大学大学院	経済科学研究科博士前期(修士)課程の社会人入学者を対象に授業料減免申請制度がある
広島大学大学院	文学研究科の博士課程前期(修士)では、入学時満50歳以上の人はフェニックス特別選抜枠で口述試験と志望理由書での選考を実施

大学側 受け入れ歓迎、優遇も

で、若い院生にもよい影響を与えている」という。

シニア入学者も

社会人受け入れに力を入れる全国の大学。東京経済大学(東京)のように修士課程でシニア枠(シニア大学院)を設けている大学もある(表参照)。同大の場合、入学時に満五十二歳以上で大学卒かそれに準ずる人が受験でき、研究テーマに関連した課題レポートや口述試験などで選抜される。

業論」の研究と博士論文の作成などに取り組む日々を送る。

「八十歳を過ぎてからの新たなキャリア。人生で学んできたものがクリアになり、自分が急速に成長している感じ」。こう語る佐藤さんに、高橋教授も「社会人院生は目的意識が明確

「八十年を過ぎてからの新たなキャリア。人生で学んできたものがクリアになり、自分が急速に成長している感じ」。こう語る佐藤さんに、高橋教授も「社会人院生は目的意識が明確

その一人、横塚絃一さん(66)は「じっくり学び修士号を取得したい」と話す。このほか、作新学院大学大学院(栃木)などのように、シニア向けに学費の割引制度を設ける大学もある。仕事上での実績評価や書類審査、面接、小論文などを重視する社会人入試制度を導入する大学も増えている。

もともと大学院の質や教育システムは様々。リクルート・学びカンパニーの、乾喜一郎さんは「自分が何を学びたいかを具体的にイメージし、どの大学院がそのテーマに適しているのかよく調べる。その上で、大学に足を運び講義を見学したり、学生や指導教授から話を聞いたりして決めることが重要」とアドバイスしている。

(編集委員 榎木誠)